

「区立幼稚園見直しの基本的方向について」説明会 8月28日(土)

10時～11時35分 発言者 3名

目黒区総合庁舎大会議室

番号	質疑内容	説明・回答内容
1	<p>長い間、保育園で仕事してきた。公立幼稚園の役割の素晴らしさを感じている。保育園では、産休明けの乳児保育、障害児保育、アレルギー対応も手厚く、子育ては目黒でという声もある。二つが一緒になることで、それぞれの良さが薄れてしまうのではないかと危惧している。国のこども園構想が出てきているが、NPOなどのこども園ができれば公立の良さが無くなる。国のこども園化を良しとして進めようとしているのか聞かせて欲しい。</p>	<p>6月25日に国が出した子ども子育て新システムの中で示されたこども園(仮称)の事だと思うが、その中では教育や保育の考え方についても触れられている。</p> <p>区としては、長い間培ってきた、幼児教育や保育について維持・発展させていくことは当然必要なことと考えているので、将来的にこども園(仮称)へ移行していくにあたっては、幼児教育や保育の質の維持向上を図っていきたいと考えている。</p>
2	<p>認定こども園は素晴らしいと思う。今すぐ保育園を必要としている人のために保育園に転用するという話であったが、初めから認定こども園にしても良いのではないか。</p> <p>廃園時期の目途について、そのまま決定されれば今度の4月には入園できるが、次の年度は入れない。現在2歳児の子は、今日からでも私立を探さなければならず既に遅すぎる。あと2年延長すれば幼稚園選択の余地がでてきて良いのだが。</p> <p>周知の方法だが、ネットで調べれば分るということではなく、対象者に決定事項を郵送するなど、工夫してほしい。</p> <p>障害のある子どもはどうなっていくのか。近くの私立幼稚園で受け入れてくれないと、受け入れてもらえる園を探して、遠い園まで行かなくてはならない。立場の弱いところにも配慮してほしい。</p>	<p>ふどう、からすみ幼稚園も認定こども園にしてはどうかという意見だと思うが、長時間保育や子育て支援事業等、認定こども園にするためには体制の充実が必要であり、財政的に難しい。低年齢児を中心に需要が高まっている保育園に転用しようということである。</p> <p>廃園時期の2年延長をというご意見だが、区としては、できるだけ早く保育所待機児解消を目指したいということで、平成25年3月末を目途とした。</p> <p>対象者全員に郵送というのは難しいと思うが、周知方法は工夫していきたい。</p> <p>障害のある子どもは、保育園・私立幼稚園でも受け入れている。区には、障害のある子どもが入園しやすいように、私立幼稚園に対する補助制度もある。</p>
3	<p>教育委員会の説明であるにもかかわらず、説明が足りない。財政のことばかりで、子ども自身の視点が抜けている。ご都合主義に聞こえる。子どもの年齢にとって、今何が大事なのかという説明が無い。保育と幼稚園を合わせれば何とかかなという発想でしかない。職員の配置や配置後の調整はどうやっていくのか。</p>	<p>幼稚園では教育要領に基づき、保育園では保育指針に基づき、それぞれ子どもの年齢に応じた教育や保育を行っており、今までもそうだが、認定こども園に移行しても、当然子どもの視点を持って運営していく。</p>
4	<p>こども園の中身について、具体的な説明がないので不安である。このまま進めていっていいという気持ちになれない。</p> <p>今後の検討にあたっては、現場の声を聴いて進めて欲しい。</p>	<p>まず、国が現在検討しているこども園(仮称)と、現在の制度である認定こども園を分けて考えていく必要がある。</p> <p>こども園(仮称)は、6月25日に制度案要綱が出された。方向性は、幼保一体化ということで、基本的な考え方は示されているが、具体的な中身は示されていない状況である。区としては、国の動きを注視しているという段階である。</p> <p>一方、認定こども園は既に制度化されており、法律や東京都の認定基準もある。区としては、その基準に沿って検討を進めている。まだ具体的な中身をこの場でお示しできる段階ではないが、より良い教育・保育をしていくために、現場の先生方の声を聴きながら進めていきたい。皆さんが安心して利用できる、信頼される施設をつくっていきたくて考えている。</p>